

歴史を学ぶ。個性を知る。

広島国際大学読本

HIROSHIMA INTERNATIONAL UNIVERSITY

2024年度



表紙絵(大阪中之島の風景): 大阪市の中心を流れる堂島川と土佐堀川に挟まれた中之島には、大正期から大阪市中央公会堂をはじめ図書館・美術館などの文化施設、大阪市役所や日本銀行大阪支店など行政・金融の中心をなす施設が立ち並んでいる。本学園の起源となる関西工学専修学校の初代校長・理事長の片岡安は、大阪市中央公会堂の実施設計、日本銀行大阪支店の建設に携わるなど、発展期の大阪において先駆的な役割を果たした人物である。

広島国際大学読本
発行日: 2024(令和6)年4月1日
発行: 学校法人常翔学園
常翔歴史館
<https://www.josho.ac.jp/ayumi/>

 学校法人常翔学園

あま か 「天翔ける君達へ」

大空を自由に翔けてゆく鳥たちのように
自らの力で羽ばたこうとする君達が、
それぞれの夢に向かって、より高く、より遠くへ飛躍できるよう…
それが『常翔』という言葉に託す想い。

しかし、空を羽ばたく鳥たちも、
その翼を休める拠りどころなしには
飛び続けることはできないだろう。

この空のもとには、彼方へと続く大地があり、
君達を育んだ街、そして共に生きる人々の営みがある。

この学園につながる全ての人々に『真の絆』を問おう。

わたし達は、ここで何を学び、どのような夢を描き、
そして、誰とよろこびを分かち合うのか。

広島国際大学
1998年開学

健康・医療・福祉分野での活躍を夢見る皆さんへ

広島国際大学は“健康・医療・福祉”の分野を中心に、地域で活躍する専門職業人を養成する大学として1998年の開学以降、現在では6学部11学科を擁し、これまでに約2万人もの卒業生を送り出しています。

学園の建学の精神は『世のため、人のため、地域のため、理論に裏付けられた実践的技術をもち、現場で活躍できる専門職業人を育成する。』とされています。この、世のため、人のため、地域のためという一節は、広島国際大学の教職員は勿論、大学の卒業生、そして広島国際大学で学ぶ皆さんにも必ず心に留めておいてほしい言葉です。この建学の精神に基づき、広島国際大学の学生や教職員、地域の人々が皆、しあわせで健康に過ごすことができていること、つまり地域に関わる人すべてが身体的・精神的に健康な状態であるだけでなく、社会的・経済的に良好で満たされている状態にあることが望まれます。このような状態を『well-being(ウェルビーイング)』といいます。では、その実現には、まず自分自身の健康な状態と社会的・経済的に満たされた状態を作り出し、そこから周囲の人たちへ、さらに地域でのウェルビーイングを広げていく必要があります。

広島国際大学での学業・課外活動に必要な知識・技術を身につけ、多くの人と交流・コミュニケーションを通じて、『現場で活躍できる専門職業人』を目指してください。



学長 馬場 寿一郎

Contents

建学の精神	03
大学の目的・理念・輩出する人材像	05
設置する学部・大学院とその展開	07
大学の歴史	09
大学の役割	21
未来をつくる	29
広島国際大学を知る	37
教育拠点	41

公式ホームページ

<https://www.hirokoku-u.ac.jp/>



広島国際大学[公式]

@HIU_PR

https://twitter.com/HIU_PR



広島国際大学

<https://line.me/R/ti/p/%40hirokokuline>



YouTube

<https://www.youtube.com/user/HIUUniv>



Instagram

<https://www.instagram.com/hiu.nyushi/>



世のため、人のため、地域のため、
理論に裏付けられた実践的技術を持ち、
現場で活躍できる
専門職業人を育成する。



本庄京三郎 (ほんじょう きょうざぶろう)

設立者・校主
1868年岡山県生まれ。1891年東京法学院(現 中央大学)卒業。日本有数の高級住宅地として知られる西宮市甲陽園の開発をはじめ多くの企業経営に携わるなど、新しい街づくりを進めた実業家でした。



片岡 安 (かたおか やすし)

初代校長・理事長
1876年石川県生まれ。1897年東京帝国大学工科大学(現 東京大学)卒業。大阪市中央公会堂をはじめ、数多くの建築設計に関わる。日本建築協会、大阪工業会理事長、京都帝国大学講師などを勤めた都市計画のパイオニアでした。



本学を設置する学校法人常翔学園の歴史は、1922(大正11)年、「関西工学専修学校」として幕を開けた。明治維新を契機にわが国は近代化・工業化に向けて大きく飛躍し、大阪も周辺地域を含め大都市へと変貌を遂げた。急速な都市化は繁栄をもたらす反面、都市基盤整備を支える技術者が不足し、これに対応できる技術者の育成が求められた。時代の要請、社会や地域の要請に応え、世の中に貢献できる人材を育成すること…。創設者たちの使命と情熱がひとつの学校の開校に向けて大きな原動力となった。一世紀前に掲げた建学の精神は、滔々と流れゆく大河のように時代とともに教える者、教わる者の思いとして受け継がれていく。

学園の沿革は「常翔学園ウェブサイト」
からご覧いただくことができます。

<https://www.josho.ac.jp>



1922年、関西工学専修学校は 専門技術の修得を志す多くの者に門戸を開いた

関西工学専修学校の開校を当時の新聞は次のように紹介した。「現代の要求する中堅的専門技術家を養成する目的を以て篤学の志を懐いて家庭の事情のため犠牲に余儀なくされている者のために関西工学専修学校を設立し…」同校の開校は、まさに「より高度な専門知識を学びたい」と願う人たちに分け隔てなく門戸を開くことが目的であり、官公庁や大学の第一線で活躍する専門家の協力により授業を行うという姿勢は、建学の精神そのものであったといえる。



常翔学園について

1922(大正11)年9月7日、時の大阪府知事 池松時和氏から設置認可を受け創設した関西工学専修学校がそもそもの始まりである。1926(大正15)年には、同校を設置運営する組織として「財団法人関西工学」を設立。その後、法令改正等による改組や名称変更を経て、2008(平成20)年に「学校法人常翔学園」と改称。「常翔」とは「常に天翔るもの」の意である。

現在では、大阪工業大学・大学院、摂南大学・大学院、広島国際大学・大学院、常翔学園中学校・高等学校、常翔啓光学園中学校・高等学校の3大学、2高校、2中学校を設置する総合学園へと成長を遂げ、約2万6千人の学生・生徒が学んでおり、延べ約31万8千人の卒業生が社会の各分野で活躍している。

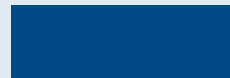
■学園章

1986(昭和61)年制定。自然界に多大の富を与え続ける太陽のフォルムをマークに生かすことにより、叡智を与え続けるあたかみのある学園を表現。またラインは河の水面、永遠に流れ続ける河をイメージし、停滞しない将来のより勝れた学問の進歩を表現している。



■学園カラー

2012(平成24)年、学校法人常翔学園を表す色彩(法人カラー)を青藍(せいらん)に制定。青藍は、鮮やかな藍(あい)色で、「青は藍より出でて藍よりも青し」の故事に基づき、学園全体の躍進と進化の象徴を表現している。



■学園の沿革

1922(大正11)年	関西工学専修学校を創設
1926(大正15)年	財団法人関西工学を設立
1933(昭和8)年	関西工業学校を開設 《後に現在の常翔学園高等学校に発展》
1940(昭和15)年	関西高等工業学校を開設 《後に現在の大阪工業大学に発展》
1947(昭和22)年	法人名を財団法人摂南学園と改称
1948(昭和23)年	摂南学園高等学校を開設
1949(昭和24)年	摂南工業大学を開設 法人名を財団法人大阪工業大学と改称 摂南工業大学を大阪工業大学と改称
1950(昭和25)年	摂南学園高等学校を大阪工業大学高等学校と改称
1951(昭和26)年	法人を学校法人大阪工業大学に改組
1975(昭和50)年	摂南大学を開設
1987(昭和62)年	法人名を学校法人大阪工大摂南大学と改称
1998(平成10)年	広島国際大学を開設
2007(平成19)年	学校法人啓光学園(啓光学園中学校[1957(昭和32)年開設]、啓光学園高等学校[1960(昭和35)年開設])と連携協定締結 同法人の名称を学校法人常翔啓光学園と改称 法人名を学校法人常翔学園と改称
2008(平成20)年	大阪工業大学高等学校を常翔学園高等学校と改称 啓光学園中学校・高等学校を 常翔啓光学園中学校・高等学校と改称
2011(平成23)年	常翔学園中学校を開設
2013(平成25)年	学校法人常翔啓光学園と法人合併

その一翼を担うため、「[ともにしあわせになる学び舎 一ひとをつなぎ くらしをつなぎ 未来へつなげる]」広島国際大学に関わるすべてのひとが、ともに学び、ともに活動し、ともに成長することによって、地域社会や人々をしあわせな未来につなげていく大学となる。」という将来像を掲げ、広島国際大学は教育・研究を行っています。私たちは、健康・医療・福祉分野に関する総合的、体系的な知識と技術を修得し、その第一線でグローバルな視野から次代の福祉社会を見つめ、担うことのできる専門職業人を育てることで、すべての人々が健康で生きがいを感じることができると理想的な福祉社会の実現を目指しています。



1997年12月19日、文部大臣(当時)から広島国際大学の設置が認可され、直ちに学生募集活動を開始。初の入試では、3,043人が受験し、552人(保健医療学部260人、医療福祉学部292人)が入学を許可されました。

※ウェルビーイングとは、世界保健機関（WHO）憲章の前文にもとづいた「肉体的にも、精神的にも、そして社会的にもすべてが満たされた状態」のことを指します。

本学における教育は、命の尊厳と豊かな人間性を基本理念とする。この理念に基づき、新しい時代が求める専門的な知識と技術の修得を進めるとともに、健康、医療、福祉の分野において活躍しうる職業人を育成する。

- ・ 命の尊厳を理解し、真心を持って他者を尊重できるひと
- ・ 志を持って学び、創意工夫を実践できるひと
- ・ 他者と課題を共有し、ともに解決を図れるひと

設置する学部・大学院とその展開

本大学は、「保健・医療と福祉を軸に世界平和を創造する大学」という理念のもと、保健医療学部と医療福祉学部の2学部で平成10(1998)年4月に開学し、その後順次学部を増設するとともに、2003年4月には、高度専門職業人を養成することを目的に大学院を開設し、現在に至っています。

1998(平成10)年

広島国際大学を開設。保健医療学部(看護学科、診療放射線学科、臨床工学科)、医療福祉学部(医療福祉学科、医療経営学科)を設置

2001(平成13)年

人間環境学部(臨床心理学科、言語・コミュニケーション学科、感性情報学科)を増設

2002(平成14)年

社会環境科学部(建築創造学科、住環境デザイン学科、情報通信学科)を増設

2003(平成15)年

保健医療学部の看護学科を看護学部看護学科に改組、大学院を開設し、看護学研究科に看護学専攻(修士課程)、総合人間科学研究科に臨床心理学専攻(博士課程)、医療工学専攻(修士課程)、医療経営学専攻(修士課程)を設置

2004(平成16)年

薬学部(薬学科)を増設、大学院総合人間科学研究科に医療福祉学専攻(修士課程)を増設

2005(平成17)年

大学院総合人間科学研究科に医療工学専攻(博士課程)を増設

2006(平成18)年

保健医療学部に理学療法学科を増設、人間環境学部(臨床心理学科、言語・コミュニケーション学科、感性情報学科)を心理科学部(臨床心理学科、コミュニケーション学科、感性デザイン学科)に改称、薬学部(薬学科)を6年制に移行、大学院に社会環境科学研究科を増設し、建築・環境学専攻(修士課程)と情報通信学専攻(修士課程)を設置

2007(平成19)年

社会環境科学部(建築創造学科、住環境デザイン学科、情報通信学科)を工学部(建築学科、住環境デザイン学科、情報通信学科、機械ロボティクス学科)に改組
大学院総合人間科学研究科にコミュニケーション学専攻(修士課程)と実践臨床心理学専攻(専門職学位課程)を増設し、臨床心理学専攻を博士課程から博士後期課程に改組

2008(平成20)年

大学院総合人間科学研究科に感性デザイン学専攻(修士課程)を増設
学校法人大阪工大摂南大学を学校法人常翔学園に改称

2009(平成21)年

大学院総合人間科学研究科を医療・福祉科学研究科(医療工学専攻、医療福祉学専攻、医療経営学専攻)と心理科学研究科(臨床心理学専攻、コミュニケーション学専攻、感性デザイン学専攻、実践臨床心理学専攻)に改組、大学院社会環境科学研究科を工学研究科に改称

2011(平成23)年

保健医療学部の理学療法学科を総合リハビリテーション学科、心理科学部のコミュニケーション学科をコミュニケーション心理学科、医療福祉学部の医療経営学科を医療経営学部医療経営学科に改組、助産学専攻科を設置、心理科学部の感性デザイン学科及び工学部の建築学科と機械ロボティクス学科の学生募集を停止

2012(平成24)年

大学院に薬学研究科医療薬学専攻(博士課程)を設置
大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)を博士課程に課程変更

2013(平成25)年

保健医療学部の総合リハビリテーション学科を総合リハビリテーション学部(リハビリテーション学科、リハビリテーション支援学科)、保健医療学部の臨床工学科を医療技術学科に改組、工学部の住環境デザイン学科と情報通信学科の学生募集を停止

2014(平成26)年

医療栄養学部医療栄養学科を増設

2015(平成27)年

心理科学部(臨床心理学科、コミュニケーション心理学科)を心理学部心理学科に改組
大学院心理科学研究科の感性デザイン学専攻の学生募集を停止

2017(平成29)年

大学院工学研究科の学生募集を停止

2019(平成31)年

大学院心理科学研究科のコミュニケーション学専攻の学生募集を停止

2020(令和2)年

健康スポーツ学部健康スポーツ学科を増設、心理学部心理学科、医療栄養学部医療栄養学科、医療経営学部医療経営学科、医療福祉学部医療福祉学科を健康科学部(心理学科、医療栄養学科、医療経営学科、医療福祉学科)に改組、保健医療学部の医療技術学科救急救命学専攻を保健医療学部救急救命学科に改組、総合リハビリテーション学部のリハビリテーション支援学科義肢装具学専攻を総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科義肢装具学専攻に改組

2024(令和6)年

健康科学部の医療福祉学科を社会学科に改組、医療・福祉学研究科(医療工学専攻、医療福祉学専攻、医療経営学専攻)と心理科学研究科(臨床心理学専攻、実践臨床心理学専攻)を医療科学研究科(保健医療学専攻、リハビリテーション学専攻)と健康科学研究科(医療福祉学専攻、医療経営学専攻、心理学専攻)に改組

開学・学び舎の完成と発展(1998～2015年度)

広島県賀茂郡黒瀬町学園台(現 東広島市黒瀬学園台)に広島国際大学が開学。次々と学舎が完成し、学びの環境が整っていきました。また、大学院の開設により、学びを深め、地域交流活動をかさね、大きく発展していきました。

1998年度(平成10年度)

- 3月 ●1号館竣工 📷
- 4月 ●広島国際大学を開学
- 梶本照穂先生初代学長就任
- 広島国際大学開学・学舎竣工記念式典および祝賀会 📷
- 1998年度入学宣誓式

1号館竣工

X線実験室、臨床工学実習室、情報演習室、図書館、食堂など、最新の施設が設けられました。



広島国際大学開学・学舎竣工記念式典および祝賀会

開学・学舎竣工記念式典会場には、各界から約400人の来賓が列席し、新しい大学の誕生を祝いました。



広国大キャンパス発行

創刊号には総長・理事長や学長、教授から新入生に向けて入学をお祝いする言葉が寄せられました。



2号館竣工

各教室のほか、600席の食堂、教務課、学生課、就職部などが設けられました。



3号館竣工

心理科学部(当時は人間環境学部)に関連する書籍を所蔵する3号館図書館、精神生理学実験室、言語実習室など、多数の施設が設けられました。

広島キャンパス(国際教育センター)竣工

入試などに使用できる多目的室を備えるとともに、附属機関である広島国際大学心理臨床センターは、全国屈指の規模を誇りました。



講堂竣工

約2,150人を収容できる広島県内最大級のホールで、同時通訳設備を完備。入学宣誓式や学位記授与式などの学内行事や、国際的な講演会や学会などにも利用できます。



呉キャンパスを開設

2002年4月、呉キャンパスを開設。JR呉線には新広島駅が新設され、東門前の通りは「国際大学通り」の愛称がつけました。



広島国際大学後援会発足

2003年11月、学生生活をさまざまな形で支える広島国際大学後援会が発足しました。

2001年度(平成13年度)

- 4月 ●2001年度入学宣誓式
- 10月 ●第1回学長表彰
- 2月 ●講堂竣工 📷
- 3月 ●2001年度学位記授与式

2002年度(平成14年度)

- 4月 ●呉キャンパス開設 📷
- 広島国際大学校友会発足
- 2002年度入学宣誓式
- 6月 ●広島国際大学野球場落成記念試合開催
- 10月 ●呉キャンパス1号館竣工
- 呉キャンパスで第1回の大学祭開催
- 学園創立80周年記念式典
- 3月 ●2002年度学位記授与式

1999年度(平成11年度)

- 4月 ●1999年度入学宣誓式
- 6月 ●クラブハウス竣工
- 7月 ●柔剣道場を増設
- 11月 ●第1回大学祭を開催
- 2月 ●2号館竣工 📷

2000年度(平成12年度)

- 4月 ●2000年度入学宣誓式
- 広国大キャンパス発行 📷 (創刊号Vol.1)
- 学園課外活動表彰式
- 2月 ●3号館竣工 📷
- 広島キャンパス(国際教育センター)竣工 📷

2003年度(平成15年度)

- 4月 ●2003年度入学宣誓式
- 11月 ●広島国際大学後援会発足 📷
- 1月 ●呉キャンパス2号館(看護学部棟)竣工
- 3月 ●2003年度学位記授与式

2004年度 (平成16年度)

- 4月 ●2004年度入学宣誓式
●上里一郎先生2代学長就任
- 5月 ●呉キャンパス6号館竣工
- 6月 ●モナッシュ大学(オーストラリア)と連携協定を締結
- 9月 ●呉キャンパス学舎披露会開催
- 2月 ●近隣市町の合併により「黒瀬キャンパス」を「東広島キャンパス」に改称
- 3月 ●2004年度学位記授与式



第1回市民交流音楽祭

地域住民との交流を目的としてスタートした市民音楽祭。第1回は海上自衛隊呉音楽隊、黒瀬高等学校和太鼓部、広島国際大学吹奏楽部が参加し、約1,000人の来場者を迎えました。



第1回リーダーズキャンプを開催

クラブの幹部学生を対象に、リーダーとしての資質向上、各クラブ間の親睦および交流を目的としたリーダーズキャンプを開催しました。



広島国際大学シンボルマークを制定

広島国際大学を視覚的に表現し、大学のイメージの浸透化と知名度アップを図るために、シンボルマークを制定しました。

2005年度 (平成17年度)

- 4月 ●2005年度入学宣誓式
●総合教育研究機構を設立
●研究開発推進機構を設立
●学生支援センター、呉学生支援センターを設置
●第1回スタートダッシュ(クラブ紹介イベント)を開催
- 12月 ●第1回市民交流音楽祭
- 2月 ●第1回リーダーズキャンプを開催(国立江田島青少年交流の家)
- 3月 ●2005年度学位記授与式

2006年度 (平成18年度)

- 4月 ●2006年度入学宣誓式
●国際交流センターを開設
- 10月 ●広島国際大学シンボルマーク(HIU)を設定
- 3月 ●放送大学と単位互換の協定を締結
●2006年度学位記授与式

2007年度 (平成19年度)

- 4月 ●2007年度入学宣誓式
- 7月 ●シニアサマーカレッジ開催
- 9月 ●広島国際大学と広島銀行との産学連携に関する「協定書」締結
- 11月 ●市民セミナー特別講演「マスキ越しに見える“人の心とからだ”」元広島東洋カープ 達川光男氏
- 3月 ●2007年度学位記授与式



シニアサマーカレッジを開催

シニア世代に知的好奇心を刺激するさまざまなテーマを設け、多くの方にご参加いただきました。



創立10周年記念式典を開催

大学創立10周年を記念するとともに、地元の各界関係者への感謝の意を表し、創立10周年記念式典を盛大に行いました。

2008年度 (平成20年度)

- 4月 ●2008年度入学宣誓式
●森永規彦先生3代学長就任
- 5月 ●創立10周年記念式典を開催
- 東広島市、広島国際大学、広島大学、近畿大学工学部、エリザベト音楽大学と連携協定を締結
- 3月 ●呉高等学校、呉工業高等学校、呉商業高等学校の3校と高大連携事業協定を締結
●日本高等教育評価機構の大学評価基準を満たしたと認定
●2008年度学位記授与式

2009年度 (平成21年度)

- 4月 ●2009年度入学宣誓式
- 7月 ●「学生・教職員協働サークルの運営による学生支援と就職支援の接続」の取り組みが学生支援プログラムとして文部科学省より採択 📷
- 3月 ●2009年度学位記授与式

2010年度 (平成22年度)

- 4月 ●2010年度入学宣誓式
- 11月 ●第1回広島国際大学健康フェアを開催 📷
- 2月 ●エリザベト音楽大学と包括協定を締結
- 3月 ●呉商工会議所と連携協定を締結
- 2010年度学位記授与式

2011年度 (平成23年度)

- 4月 ●2011年度入学宣誓式
- 広島キャンパス設置
- 社会学連携推進機構を設立
- 広島県リハビリテーション協会と包括提携を締結
- 7月 ●子ども向け体験イベントを実施 📷
- 11月 ●秋山寛利先生4代学長就任
- 3月 ●比治山大学と包括協定を締結
- 2011年度学位記授与式

本学の取組が学生支援プログラムとして文部科学省より採択

「学生・教職員協働サークルの運営による学生支援と就職支援の接続」の取り組みが学生支援プログラムとして文部科学省に採択されました。



広島国際大学健康フェアを開催

健康に関するイベントを通じて地域社会との「つながり」を深めるため、健康フェアを開催しました。



2011年度子ども向け体験イベント

本学では初の試みとして、『2011年度子ども向け体験イベント』を各学部・学科主催により開催しました。



薬学部がノースカロライナ大学チャペルヒル校と学術交流協定を締結

ノースカロライナ大学チャペルヒル校薬学部薬学部長室にて、関係者が出席して学術交流協定に調印しました。



2012年度 (平成24年度)

- 4月 ●2012年度入学宣誓式
- 5月 ●賀茂高等学校と高大連携協定を締結
- 6月 ●本学大学院薬学研究科医療薬学専攻が呉市の3病院と連携協定を締結
- 10月 ●学園創立90周年記念式典
- 2月 ●広島県と医療・介護・福祉・保健分野における連携協力協定を締結
- 3月 ●2012年度学位記授与式

2013年度 (平成25年度)

- 4月 ●2013年度入学宣誓式
- 8月 ●島根県飯南町と森林セラピー推進事業における連携協力協定を締結
- 1月 ●広島信用金庫と医工連携プロジェクトにかかる連携協定を締結
- 中国地域産学官連携コンソーシアムに加入
- 3月 ●熊野町と保健福祉施策における連携協力協定を締結
- 薬学部がノースカロライナ大学と学術交流協定を締結 📷
- 2013年度学位記授与式

2014年度 (平成26年度)

- 4月 ●2014年度入学宣誓式
- 医療栄養学部教員が平成26年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞
- 8月 ●広島土砂災害にボランティアを派遣
- 3月 ●呉市と包括連携協力協定を締結
- 2014年度学位記授与式

総合リハビリテーション学部が中国リハビリテーション研究センターおよび首都医科大学リハビリテーション医学院と学術交流協定を締結

東広島キャンパスで、学術交流にかかる協定締結式および懇親会を行い、連携協力を誓いました。



東広島市、黒瀬高等学校と福祉分野における人材育成事業に関する包括連携協定を締結

学生・生徒や医療・介護従事者を対象とした研修の実施、コミュニティサロンの活性化に向けた学生・生徒のボランティア活動の充実などを通じて、福祉の領域で活躍できる人材を育成することを目的に、東広島市および県立黒瀬高等学校と包括連携協定を締結しました。



2015年度 (平成27年度)

- 4月 ●2015年度入学宣誓式
- 6月 ●安芸太田町と地域医療の充実等を目的に連携協力協定を締結
- 9月 ●薬学部がマーサー大学およびテネシー大学医療科学センターと学術交流協定を締結
- 10月 ●総合リハビリテーション学部が中国リハビリテーション研究センターおよび首都医科大学リハビリテーション医学院と学術交流協定を締結
- 11月 ●焼廣益秀先生5代学長就任
- 3月 ●東広島市、黒瀬高等学校と福祉分野における人材育成事業に関する包括連携協定を締結
- 日本高等教育評価機構の大学評価基準を満たしたと認定
- 2015年度学位記授与式

ともにしあわせになる学び舎 (2016～2023)

2018年度に開学20周年を迎え、健康・医療・福祉分野の総合大学として、これまで以上に社会・地域に愛され必要とされる大学・地域に開かれた大学へ歩んでいきます。

受刑者への人工透析活動に対して広島刑務所から感謝状授与

本学の臨床工学士の資格を持った教員と大学院生が10年以上にわたり、広島刑務所で透析が必要な受刑者に人工透析を処す活動を行ってきたことに対し、広島刑務所 (広島市中区) から感謝状が授与されました。



「アジア介護・福祉教育研修センター」開所

介護・福祉分野で外国人を指導する人材を養成するプログラムを開発し、育成するためのセンターを設置しました。



東広島・呉キャンパスに【アクティブラーニング教室、アクティブラーニングスタジオ】を整備

さまざまなICT機器をネットワークで接続し、授業参加することができる他、離れたキャンパスの教室と遠隔講義システムで接続し授業展開することを可能とした教育環境を整備しました。



2016年度 (平成28年度)

- 4月 ●2016年度入学宣誓式
- 5月 ●看護学科教員がひろしまナイチンゲール賞を受賞
- 6月 ●医療経営学部紹介リーフレットが第37回広島広告企画制作賞受賞
- 7月 ●受刑者への人工透析活動に対して広島刑務所から感謝状授与
- 12月 ●瀬戸内学園、広島常光福祉会と高齢者福祉を担う人材育成について連携協定を締結
- 2月 ●開学20周年記念イベント 広島国際大学 リオデジャネイロ・パラリンピック特別講演会を開催
- 3月 ●「アジア介護・福祉教育研修センター」開所
- 2016年度学位記授与式

2017年度 (平成29年度)

- 4月 ●2017年度入学宣誓式
- グエン・ドクさん客員教授に就任
- 10月 ●医療栄養学科の学生、(株)イズミとお弁当共同開発
- 11月 ●東広島市と福祉避難所設置運営に関する協定を締結
- 3月 ●東広島・呉キャンパスに【アクティブラーニング教室、アクティブラーニングスタジオ】を整備
- 2017年度学位記授与式

2018年度 (平成30年度)

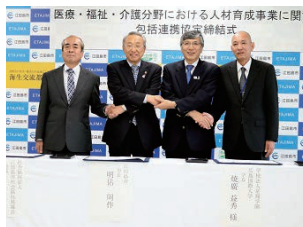
- 4月 ●2018年度入学宣誓式
●広島市民大学開学
- 7月 ●西日本豪雨災害
●グエン・ドク客員教授 講演会を開催
- 10月 ●イズミと学生のコラボ企画 第2弾「2018年カラダ想い御膳」販売開始
●江田島市の各機関および高校と4者で包括連携協定を締結
- 1月 ●産学官7団体が竹原地域の福祉人材確保を目的に包括連携協定を締結
- 3月 ●東広島キャンパス陸上競技場竣工
●呉キャンパス3号館(教育会館)竣工
●呉キャンパスクラブハウス竣工
●2018年度学位記授与式

2019年度 (平成31年度/令和元年度)

- 4月 ●2019年度入学宣誓式
- 5月 ●東広島市と「健康なまちづくりに関する連携協定」を締結
●社会福祉法人常光福祉会と「まな・はたプロジェクト」連携協定を締結
- 6月 ●健康スポーツ学部、健康科学部開設記念シンポジウム開催。トークショー「あきらめないこころ」元広島東洋カープ・野球解説者 新井貴浩氏
- 9月 ●「高等教育の修学支援新制度」の対象機関として認定
- 10月 ●呉キャンパスに呉ローズガーデンを整備
- 1月 ●東広島キャンパスにActive WellnessCenter竣工
- 3月 ●2019年度学位記授与式

江田島市の各機関および高校と4者で包括連携協定を締結

江田島市、社会福祉法人江田島市社会福祉協議会、広島県立大柿高等学校と本学の4者による、医療・福祉・介護分野における人材育成事業に関する包括連携協定の締結式を実施しました。



呉キャンパス3号館(教育会館)竣工

グループ学修、個別学修等シーンに応じた快適で多様な学習空間や地域にも開かれたカフェ(レストラン)などを備えた複合型教育施設として、大学と地域の多様な人々が交流と連携を通してともに学ぶことができる環境を整備しました。



東広島市と「健康なまちづくりに関する連携協定」を締結

東広島市が掲げる健康なまちづくりに、本学の健康・医療・福祉分野に関する知見を活用して、市民の健康増進や健康寿命の延伸を図るため「健康なまちづくりに関する連携協定」を締結しました。



社会福祉法人常光福祉会と「まな・はたプロジェクト」連携協定を締結

広島国際大学と進学困難な若者を多様な学び方・働き方でサポートする「まな・はたプロジェクト」について連携協定を締結しました。



東広島市と「東広島市フレイル対策プロジェクト」の展開にかかる合同記者発表

本学と東広島市は、10月27日、同市役所で、「東広島市フレイル対策プロジェクト」の展開に向けて合同記者発表を行いました。本プロジェクトは、市民の健康寿命の延伸を目的に、フレイル(要介護前の虚弱)対策を中心とした介護予防の更なる推進を図るもので、本学の「しあわせ健康センター」を拠点にフレイルサポーターやアドバイザー養成などを行います。



マツダラグビー部と「選手の体組成測定や食事における栄養バランス、体の状態調査・栄養指導」における連携事業 開始

マツダラグビー部との連携事業を開始。7月3日、連携事業初回の取り組みとして、医療栄養学科所属の公認スポーツ栄養士をはじめとする本学教員らが選手の体組成測定や食事における栄養バランス、体の状態を調査し、指導を行いました。



2020年度 (令和2年度)

- 4月 ●2020年度入学宣誓式
- 9月 ●男子プロバスケットボール B.LEAGUE B1所属の広島ドラゴンフライズとの連携事業を開始
- 10月 ●東広島市と「東広島市フレイル対策プロジェクト」の展開にかかる合同記者発表
- 11月 ●株式会社八天堂、社会福祉法人宗越福祉会とウェルネスビジネスモデルの開発・持続を目的とした3者連携に関する協定を締結
- 12月 ●中国労災病院と教育・研究・社会連携活動の包括的な連携・協力体制と両機関の一層の進展に資することを目的に包括連携協定を締結
- 3月 ●2020年度学位記授与式

2021年度 (令和3年度)

- 4月 ●2021年度入学宣誓式
●教育学生支援機構を設置
●発達障害児の子育て学「ペアトレ」心理臨床センター親の悩みに個別対応し療育支援
- 7月 ●マツダラグビー部と「選手の体組成測定や食事における栄養バランス、体の状態調査・栄養指導」における連携事業 開始
- 9月 ●中国リハビリテーションセンターと学術教育交流協定を締結
- 3月 ●2021年度学位記授与式

2022年度 (令和4年度)

- 4月 ●2022年度入学宣誓式
- 5月 ●ASC (アダプテッドスポーツクラブ) の学生が広島県障害者陸上競技大会で車椅子や義足を修理
- 6月 ●管理栄養士を目指す学生がヘルシーケーキを考案
- 8月 ●子供たちの夢膨らむ職業体験企業・団体と連携して企画・運営
- 10月 ●学生ボランティアが地元の治山事業に貢献 📷
- 11月 ●学園創立100周年・大学開学25周年記念事業「スポーツ・健康フェア」を開催 📷
- 3月 ●日本高等教育評価機構の大学評価基準を満たしたと認定
●2022年度学位記授与式

学生ボランティアが地元の治山事業に貢献

学生ボランティア・教職員が林野庁近畿中国森林管理局広島森林管理署と合同で、東広島キャンパス向かいにある民有林直轄治山事業地において、植樹を行いました。



学園創立100周年・大学開学25周年記念事業「スポーツ・健康フェア」を開催

学園創立100周年・大学開学25周年記念事業として「スポーツ・健康フェア」を開催しました。アスリートの方々を招き、スポーツイベントや健康フェア、講演会を通して地域住民の方々とともに学園創立100周年・大学開学25周年を祝いました。



「地域まるごと文化フェス」を開催

地域を盛り上げるイベントとして「地域まるごと文化フェス」を開催しました。地元の高校、企業、お店、地域の方、ダンススタジオなど大学に関わるあらゆる方々と一緒にイベントを催し、多くの地域の方々の笑顔を見ることができました。また、2023年は、社会学科開設記念も兼ねて、開催しました。



2023年度 (令和5年度)

- 4月 ●2023年度入学宣誓式
●東広島市 Town & Gown office 準備室設置
- 5月 ●呉信用金庫と相互に連携・協力をして地域が抱える課題について考え、明るい豊かな地域社会の形成、および人材育成に寄与することを目的に包括連携協定を締結
- 6月 ●「地域まるごと文化フェス」を開催 📷
- 11月 ●清水壽一郎先生6代学長に就任
- 3月 ●2023年度学位記授与式

ウェルビーイングを目指して(2024年度～)

2023年度に開学25周年を迎え、広島国際大学に関わるすべてのひとが、ともに学び、ともに活動し、ともに成長することによって、地域社会や人々をしあわせな未来につなげていく大学を目指し、ウェルビーイングを実現する大学へ歩んでいきます。

社会学科 開設

地方が抱えている課題に向き合い、地域を学びの場とする社会学科が開設しました。学生はこれから、地域住民や地域の様々な関係機関・団体、社会福祉の専門職とともにフィールドワークを通じて実践的な学びを展開していきます。地域生活課題の背景にある社会状況や社会構造を理解しながら人や社会の課題解決を図り、社会のウェルビーイングに貢献する人材を育成していきます。



Town & Gown office 開設

東広島市と広島国際大学が推進する「Town&Gown構想」に基づき、東広島市×広島国際大学Town&Gown office「東広島健康ステーション」が東広島キャンパスに開設されました。東広島健康ステーションでは広島国際大学の研究成果の社会実装や企業・事業所の知見・プロダクトを活用して東広島市民の健康 (well-being) に資する事業を推進していきます。



2024年度 (令和6年度)

- 4月 ●2024年度入学宣誓式
●「大学の目的」の見直し。
「広島国際大学は、建学の精神および教育の理念に基づいて教育・研究を推進することにより、ひとと共に歩み、あらゆる人々や地域のウェルビーイングに寄与することを目的とする。」
●社会学科開設 📷
●医療科学研究科、健康科学研究科 開設
●Town & Gown office 開設 📷

社会の発展に寄与する、広島国際大学の役割

その①／教育

現場で活躍できる専門職業人を育成する

高度な学びの環境を整備し、専門職業人として地域社会に貢献できる人材を育成します。

【教育の特色】

●専門職業人の育成

本学の教育理念は、「命の尊厳と豊かな人間性を基本として、各領域で活躍しうる職業人を養成する」ことであり、この理念に基づき、国際社会の発展に貢献できる専門職業人を育成しています。

●国家試験対策

国家試験合格に向けた徹底した教育支援を実施。各学部・学科とも国家試験において高い合格率を誇ります。

●広島国際大学資格取得奨励金制度

2013年4月から、学生が在学中に本学が指定する試験に合格した場合、奨励金を支給する制度を開始。学生のスキルアップおよびキャリアアップのサポートをしています。

●就業力育成プログラム

就業力とは「学生が卒業後も社会的・職業的に自立するために必要な能力」のこと。広島国際大学では就職はもちろん、社会人として自立できる能力を在学中に身に付けることができるよう、「就業力育成プログラム」を実践しています。



専門職連携教育(IPE)

より良い医療・福祉サービスを提供するためには、サービスの利用者(患者さん)とその家族を中心に据え、その方々の希望や価値観に沿って、健康・医療・福祉に関わる専門職が互いに協働することが不可欠です。本学IPEでは、各種専門職が連携してチームとして活動することの意義を実感し、その理解を深めることを目的としています。

- Step1 チームに必要なコミュニケーションを身につける
- Step2 チームで課題発見・解決スキルを身につける
- Step3 チームにおける様々な専門職を理解し、協働的に学ぶ
- Step4 チームで医療・福祉サービスを実践的に学ぶ



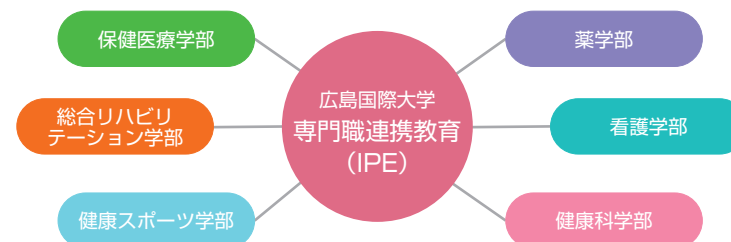
健康・医療・福祉分野で相互に連携できるプロフェSSIONALの輩出



Step3「専門職連携総合演習Ⅰ」の様子



Step4 実施風景



健康科学部横断科目

健康科学部では、4学科の学生が合同で学び、他学科の専門的な視点を学ぶことができる横断科目を新設しました。健康を支える「運動（スポーツ）」を「メンタル」「栄養」「ビジネス」「社会（まちづくり）」「しあわせ」の5つの視点で深く学びます。さらにここで学んだ視点からスポーツ観戦やグループワークなどのアクティブな学びを展開することで、学びの楽しさや学びに対する興味といった意識も醸成していきます。

メンタル

- ・睡眠でパフォーマンスが向上！
- ・チャンスで結果を残すために
- ・いつもより力が出せる応援のヒミツ！

ビジネス

- ・健康はお金で買える時代に！
- ・試合の観戦料はどうやって決まる？
- ・プロチームが優勝した時の経済効果は？

栄養

- ・アスリートが大切にしている食事の裏側！
- ・健康食品って本当に効く？
- ・きつい練習後に食べたいものは？

まちづくり

- ・地域にスポーツが必要な理由！
- ・スポーツで元気にするまちづくり

スポーツを いろいろな視点で 学ぼう！

しあわせ

- ・みんなで楽しくスポーツをするために
- ・パラアスリートとつながる！

STEP1

スポーツを 5つの視点から学ぶ



STEP2

学んだ視点から 観戦してリサーチ



STEP3

グループワークで 考えを深める



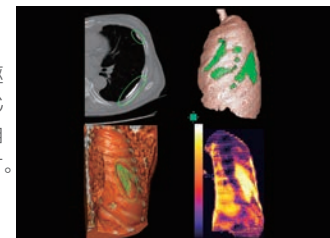
その②／研究

最先端の医療技術の研究により、社会を支える

高齢社会に役立つさまざまな医療技術を研究・分析し、地域に役立つ情報を発信します。

コンピュータにより医師の画像診断を支援

デジタルX線画像、マルチスライスCT、MRIなどの最先端機器を駆使する医療現場では、多種多様な画像を多角的に診断する必要性が生じています。それに応えるため、画像をコンピュータで解析し、病巣部の自動検出や良悪性鑑別をすることによって、医師の診断を支援しています。



究極の軟らかさに調整可能な新しい介護食

要介護者のQOL（クオリティ・オブ・ライフ）の向上が課題となっていることから、「見た目は普通の食事と変わらず、やわらかくて、おいしい介護食」が開発されました。本学医療栄養学科には、本技術で2014年度文部科学大臣表彰 科学技術賞を受賞した教員が在籍しており、高齢社会の中での食のありかたの改善に貢献していくことが期待されます。



大学院

より高度な専門性と幅広い教養を備えた人材の養成を目指して

充実した教育研究環境で実社会に活かせる高度な知識・技術・先端的な知性を養い、高い見識を持った人材を育成します。

医療科学研究科

「保健医療学専攻」と「リハビリテーション学専攻」の2つの専攻があり、幅広い見識を身に付け、将来的な課題と洞察と研究から新しい研究分野を開拓しうる指導的な専門職業人として、臨床・教育・研究の各領域で活躍できる人材を養成する。

健康科学研究科

「医療福祉学専攻」、「医療経営学専攻」、「心理学専攻」の3つの専攻があり、健康科学の知識や技術を活用して適切な進路を選択し、地域社会の課題に主体的に取り組み、問題解決に向け、活躍できる人材を育成する。

看護学研究科

「看護学専攻」があり、少子高齢社会や医療技術の進歩にともない、質の高いケアを実践できる看護職の育成が求められており、こうした社会のニーズに応えるために、看護学の管理者・教育者・研究者を育成します。

薬学研究科

「医療薬学専攻」があり、「くすり」という生理活性物質を多角的な方面から捉えた高度な研究能力を有する薬剤師研究者の養成を目的としています。

その③／国際交流

グローバルに活躍できる人材を育成する

世界と地域で活躍できるグローバルな感覚が身に付くように、学生が主役の国際交流をサポートします。



【海外研修】

訪問国の歴史・風土・文化を学ぶことに加えて、現地の人々との出会いや触れ合いで、国際感覚を磨きます。言葉を越えた心の交流を体験し、世界で活躍できる人材育成を目指します。

◎海外チャレンジプロジェクト

海外で学びたい学生のために、海外研修を資金面からバックアップする制度。企画書を提出し、書類選考・面接を経て採用されると、大学から奨励金を支給しています。

海外研修プログラム

海外語学研修（英語・韓国語）
異文化研修（中国・台湾）

海外留学・研修を推進する国際交流センター

学生の海外留学・研修の推進、留学生の受け入れのほか、国際広報活動、地域社会の国際交流イベントなどの支援を行っています。



◎過去の海外研修参加人数

参加年度	海外研修事業名	参加人数
2012年度	海外語学研修（韓国語）	4人
	海外語学研修（英語）	7人
	海外ボランティア研修	4人
	海外研修スタートアップ	1人
	学生短期海外研修	2人
2013年度	海外語学研修（韓国語）	1人
	海外研修スタートアップ	3人
	学生短期海外研修	5人
	海外留学支援事業	3人
2014年度	海外語学研修（韓国語）	1人
	海外語学研修（英語）	1人
	海外研修スタートアップ	3人
	学生短期海外研修	4人
	海外留学支援事業	3人

◎留学生出身国

中国・台湾・ベトナム

◎大学で実施している交流イベント

地域交流事業「餃子教室」、国際交流事業「餅つき体験会」、国際交流送別会、新入生歓迎会、日本文化体験会

その④／地域貢献

地域と大学の「Well-being」を目指して連携を推進する

「ひとをつなぎ 暮らしをつなぎ 未来へつなげる」を連携姿勢として、学生と地域社会が触れ合えるプロジェクトや取り組みを支援し、地域の発展や活性化に貢献します。



【地域活性化支援プロジェクト】

学生が主体的に地域団体や自治体などと連携し、地域連携活動を推進することを目的としています。また、課題解決に取り組むことで課題発見力などの社会人基礎力を向上させ、地域社会に貢献する人材育成を目指しています。

（2023年度採択プロジェクト）

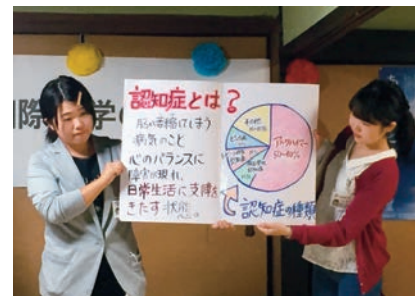
●「LCF (Let's have fun with children & Families)」プロジェクト

呉市すこやか子育て支援センターを活躍の場として、看護学部が中心となり、地域の親子に楽しんでもいただけるイベントを企画・実施しています。



●「瀬戸内イキイキ」プロジェクト

地域サロンに参加して高齢者の方々とのかき合いなどを通じて交流を深めながら、健康チェックや認知症予防に関する健康教育を行っています。この活動は、高齢者の生きがい支援と地域活性化を目指しています。



【チャレンジプロジェクト】

建学の精神に基づき、人のため、社会のため、地域のため、学生自らがプロジェクトを企画・立案し、その実現を果たすために、失敗を恐れずチャレンジすることで、社会人基礎力にある「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の向上を目指します。

【地域とのより深いつながりを築くために】

広島市民大学



2018年度に広島国際大学開学20周年記念事業の一環として、学生や教職員だけではなく、地域や社会の全ての人にとって「ともにしあわせになる学び舎」になることを目指し、誰もが一緒に学びあったり、教えあったり、集ったりしながら、健康で楽しい毎日を通り越すための活動の場として「広島市民大学」を開学しました。

「子ども向け体験講座」、「公開講座」、「地域社会の要望に応えるコース」を開講し、これらの生涯学習をとおして地域社会の成長と活性化、健康増進に貢献しています。

2022年度は、8コース（こども未来コース【学童期編、思春期編】、IT活用コース、かしこい患者学コース、「いのち」を紡ぐコース、「たおやかな心」

を育むコース、おしごと【職業】体験コース、ゼミナール、フレイル予防コース）を開講しました。

「おしごと【職業】体験コース」は例年、子ども向け体験講座で人気のあった職業体験を1年を通じ様々な職業が体験できるように2022年度にコース化しました。

大学が運営する市民大学は全国的にも珍しく、本学の地域貢献活動の一つとして市民大学の充実を目指していきます。

産官学連携

大学での学術研究を産業や地域に活かす産官学連携。企業や研究所と連携し、社会が求める新しい技術や製品の開発を行っています。



高大連携

大学体験学習や高校生と在学生との交流など、たくさんの高校と交流事業を実施し、大学で学び楽しさを伝えます。



心理臨床センター

地域に開かれた相談機関として、心のさまざまな悩みや不安、家族の問題、学校生活での問題などについて、カウンセラーが相談に応じています。多様な心理相談に応じることができる施設です。



呉ローズガーデン

2019年度に広島国際大学開学20周年記念事業として、「みんなで創る!みんながつながる!植物を通してしあわせになる!」をコンセプトに、誰もが気軽に集い、交流できる憩いの場として開園しました。現在は、お子様から大人の方まで花木の観賞や散策を楽しんでいただいています。



【ボランティアセンター】

広島国際大学は「建学の精神」の中で「世のため、人のため、地域のため、理論に裏付けられた実践的技術をもち、現場で活躍できる専門職業人を育成する。」を使命に掲げており、その達成のためには、学業だけではなく、課外活動やボランティア活動等も在学中から積極的に行い、地域との接点を持つことも重要と考えて取り組んでいます。「また近年、地域から大学に寄せられるボランティアの要望は日々増しており、これに応えることも重要な大学の使命です。以上を踏まえ」、ボランティアセンターは学生の積極的なボランティア活動への参加とボランティア精神の醸成を目的としています。「さらに同センターでは「すべての広島大生が在学中に社会奉仕活動に参加し、その結果、学生の自主性と社会性の涵養に資すること」を目指しており、本学が成すべき社会的責任を果たしていくためにボランティア活動を活性化させていきます。」



【学生消防団】

地域の消防団員が減少し、団員の平均年齢の上昇がすすむなか、大学生等の力を災害地域での支援活動に役立ててほしいという思いから、東広島市消防局が「学生消防団員」を公募。2012年10月に在学生8名が初めて入団しました。この他にも、地域の総合防災訓練への参加など、課外活動が活発に行われています。2023年12月現在では29名の学生が入団しています。



【大学祭】

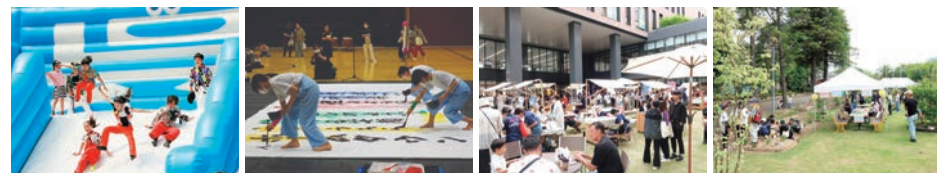
例年、東広島キャンパスでは10月中旬、呉キャンパスでは10月下旬に行われる大学祭。コロナ禍では中止や飲食の制限等をかけての開催でしたが、2023年度は両キャンパスとも制限なしでの開催となりました。東広島キャンパスでは10月14・15日、呉キャンパスでは10月21・22日に開催され、模擬店、ステージでの学生ライブ演奏、学外からタレントを招いてのトークショーなど、多彩なイベントで多くの学生・教職員・地域の方にご来場いただきました。

2023年度大学祭【第25回和深祭(なごみさい)】実施模様



【地域まると文化フェス】

市町・学校・企業・団体等に参画いただき、イベントを通して地域がつながり、地元を盛り上げていくことを目的に「地域まると文化フェス」を開催。地元の高校による成果発表会やミニキッズコーナーをはじめ、地元企業による講演会、セミナー、地元のお店などによるマルシェ、地域の方と協力した呉ローズガーデンマルシェ（植栽会など）、本学学生・高校生・ダンススタジオ生徒によるダンスイベントなど、様々なイベントを開催しました。



ともに「しあわせ」に

ウェルビーイングとは

ウェルビーイングとは世界保健機関(WHO)の憲章で使われており、日本WHO協会では「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること」と訳されています。つまり、「しあわせ」「健康」を表す言葉です。今、教育分野においても社会のウェルビーイングに資する人材、成長分野の人材育成に向けた取り組みが進められています。

広島国際大学に関わるすべてのひとを「しあわせ」に

日本では「人口」「地域」「福祉」「労働」「子ども」「環境」「食」など、様々な社会課題を抱えています。健康・医療・福祉分野の学びを地域との連携を推進させ、これまで以上に地域の方一人ひとりの、また社会のウェルビーイングに資する人材の育成に努めます。



地域社会や人々をしあわせな未来につなげていく大学 それが、広島国際大学の「未来の姿」です



誰だって自分らしく生きたい。

健康とは

今、医療の世界では、延命技術による生命の長さのみに注目するのではなく、患者さんの人生観や価値観を尊重し、その人が“これでいい”と思えるような生活を維持することに配慮した治療が主流となっています。また、近年は寿命の「長さ」よりも、いかに健康で自立した生活が送れるかという「質」の部分が問われる時代でもあります。人がどれだけ健康で自分らしい暮らしを送り、人生に幸福を見出しているかを重視すること。それが「QOL(クオリティ・オブ・ライフ)」という考え方です。

人と社会のニーズをとらえ、実践する。

医療や福祉の現場では、人間としての尊厳と、心の豊かさ、安らぎが感じられる看護や援助が望まれているのです。「幸せに暮らしたい」「元気に過ごしたい」。そんな人と社会のニーズに応えるために、私たちは幅広い教養とこれからの医療・福祉を担う知識と技術を育みます。



誰もが健康で豊かに暮らせる社会の
実現に寄与する人材の育成。
これが、広島国際大学の『存在意義』です。

病と闘っているのは患者さんと医師だけではない。

医療とは

医療の現場には「チーム医療」という言葉があります。これは患者さんを中心に医師や看護師をはじめ、薬剤師、診療放射線技師、臨床工学技士、理学療法士、救急救命士、管理栄養士など、他の医療スタッフが互いの専門性を尊重し、最大限の能力を引き出し合うことで最善の治療を行うことです。

これを実践するためには、各スタッフが医師と対等な立場で所見を述べ、コミュニケーションを密にとるなど、プロフェッショナルとしての能力と自覚が求められます。私たちは医療従事者としてどのようなプロフェッショナルを目指すべきなのでしょうか？

「より良い医療を提供したい」。一人ひとりの熱い想いが結集し、優れた「チーム医療」が生まれるのです。

本学の教育・研究は、健康・医療・福祉と多様な分野で構成されています。これらに共通するのは、「人々が幸せに暮らせる社会づくりに貢献したい」という想い。多くの先輩たちがこの大きな想いに応えるべく、大学で学んだ知識と技術、そしてチームワークを武器に戦っているのです。



広く社会で活躍できる専門職業人として
一人ひとりの持てる能力を
最大限に高めることが私たちの『目的』です。

福祉とは幸福を意味します。

福祉とは

医療に携わる人間にとって、とても身近な「福祉」という言葉。
そもそも福祉とは「しあわせ」や「ゆたかさ」を意味します。
リハビリや介護など、医療を通じて多くの人々に
「しあわせ」や「ゆたかさ」、すなわち「幸福」を提供していくことが、
医療福祉の世界で働く人たちの大きな使命なのです。

人の心とからだに寄り添い、ともに生きることを考える。

少子高齢化、そして心の問題などが深刻化する中、医療に携わる者の役割は、これまで以上に増えています。医療と福祉の視点を備えた人材、人にやさしい工学や心を科学する専門家、このようなスペシャリストが求められています。



人間に対する深い共感と洞察力を育み、
自分と他者を大切に思うことができる人へ。
それが私たちの『使命』です。

①大学章、シンボルマーク、タグライン、ユニバーシティカラー、大学歌

●大学章



デザインの中央には地球を据え、世界平和を創造する広島国際大学の国際性を表現しています。周囲には大学の英文名「HIROSHIMA INTERNATIONAL UNIVERSITY」とともに、大学の「大」の字を上部に冠し、広く広島国際大学の校章であることを表現しています。

●シンボルマーク



大学名の英語表記「Hiroshima International University」の頭文字である「HIU」を、「Hは支え合う人、Iは主張する人、Uは解り合う人」のイメージに重ねてシンボル化しました。さまざまな笑顔、目を閉じて夢を描く人、というイメージも併せ持っており、本学が21世紀に育てたいと願う人物像を象徴しています。

●タグライン

いのちのそばに。ひととともに。

大学の理念を表すタグラインとして、「いのちのそばに。ひととともに。」を掲げています。2013年4月より健康・医療・福祉分野の総合大学として本格的に歩みを進めていくにあたり、象徴的な表現としました。

超高齢社会を迎えた日本において、それとともに複雑化する医療現場には、多様なニーズに対応できるプロフェッショナルが喫緊に求められています。広島国際大学ではこれまでも、「ここに届く医療」を実践できる専門職業人を育成し、社会に送り出してまいりました。これからも健康・医療・福祉分野の総合大学として、人々のそばに寄り添いともに歩んでいく、タグラインにはそんな想いを込めています。

●ユニバーシティカラー

情熱、ハート、優しさ、暖かさを暖色系の色彩で表現しています。シンボルマークとともに運用ブックにて定めて2007年10月から使用しており、2012年9月3日より正式に決定いたしました。

印刷物(特色指定)/DIC2001 100%
印刷物(掛け合わせ指定)/M 70% + Y 25%
デジタルメディア/#E76F8E R:231 G:111 B:142
(参考/マンセル値:8.4RP 6.2/12.2)



●大学歌

大学歌楽譜



大学歌詞 「われらが使命」

藤田 進 作詞/禪定佳隆 作曲

賀茂の台地に あさひ 旭日映え	北に龍王 南に野呂	豊かに流る 黒瀬川
輝く学舎の 雄姿あり	高き理想の 若人ら	清きまなざし ひたむきに
愛と真心 たか 昂めつつ	英知と技量を 研ぎつつ	真理と友誼を 究めつつ
ひと 人類の幸せ 創りゆく	ひと 人類の慶び 求めゆく	ひと 人類の平和を 築きゆく
ああ われらが使命 たか 崇高なり	ああ われらが使命 おおき 偉大なり	ああ われらが使命 ながき 永遠なり

②知るほど、なるほど!

広国大を読み解く数字

キャンパスの総面積や学生寮の部屋数、輩出したスペシャリスト数など、知っているようで意外と知らない大学のさまざまな情報を数字で紹介。広島国際大学の全容を読み解いていきます。

405,537.98m²

キャンパスの総面積

自然豊かな東広島キャンパス、温暖な気候の呉キャンパス。教育研究に最適な環境の2キャンパスの総面積は41万㎡で、東京ドームの約9個分に匹敵します。



74団体

課外活動団体数

新しい出会いと感動。あなたも、なにかに夢中になってみませんか。(休部団体も含む)



20

めざせる
国家資格の数

常に高水準の合格率を維持しています。

1,570室

学生寮の部屋数

セキュリティも万全で安心。プライバシーもしっかり守られています。



19,833人

輩出したスペシャリスト数※

医療・福祉、心理、工学分野の専門職業人を社会に送り出しました。
※2023年3月時点

2,149席

講堂座席数

広島県内最大級のホール。国際的な講演会や学会など、広く利用されています。



86教室

大学全体の教室の数

本学ではさまざまなスタイルの講義に合わせて、優れた設備を有した教室を多く持っています。

98.5%

大学全体の就職率※

高い就職率を維持しています。

※2023年3月卒業生



社会をつなぐ人を育てるための キャンパスのつながり。

東広島市、呉市に2キャンパスを設置し、教育や学生生活を通じて、学部・キャンパス間の連携・交流の促進を図っています。これら2つのキャンパスが、教育、研究、社会貢献の拠点として連携することで、より高いレベルの教育研究を実践できる環境づくりを進め、中四国を代表する大学への飛躍を目指しています。



東広島キャンパス(2020年6月現在)



呉キャンパス(2023年1月現在)

東広島キャンパス

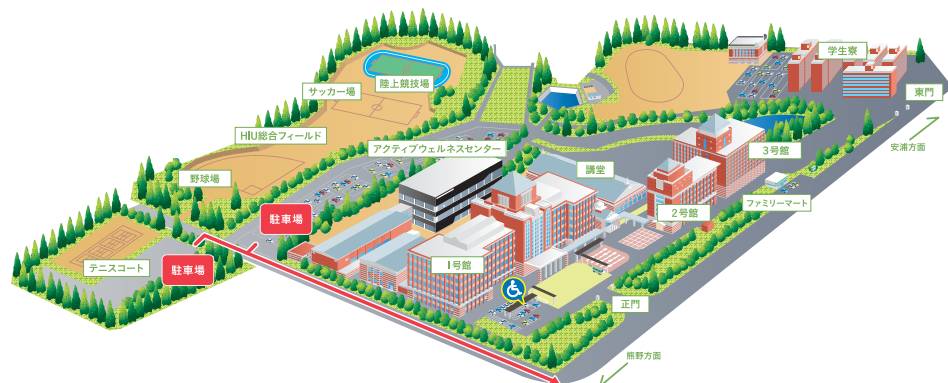


保健医療学部、総合リハビリテーション学部、健康スポーツ学部、健康科学部〔心理・医療経営・社会学科(社会福祉学専攻)〕の学術拠点。自然豊かで広々としたキャンパスは、アカデミックさを漂わせながらも、のびのびとした雰囲気包まれています。

未来に挑戦する自然豊かな
国際学術研究都市
東広島市

東広島キャンパス

保健医療学部
総合リハビリテーション学部
健康スポーツ学部
健康科学部
〔心理・医療経営・
社会学科(社会福祉学専攻)〕



つなぐ手に
海・技・人が光るまち
呉市

呉キャンパス

看護学部
薬学部
健康科学部
〔医療栄養学科・
社会学科(地域創生学専攻)〕

看護学部、薬学部、健康科学部〔医療栄養学科・社会学科(地域創生学専攻)〕の学術拠点の呉キャンパス。勉強はもちろん、他学科の学生や大学院生、教授たちがフレンドリーに触れあえる、明るい雰囲気が印象的です。

呉キャンパス

